

こなん水辺公園ニュース

2013年9月号(通算第21号)

こなん水辺公園解説員グループ編集

ヨシで舟をつくってのりました!

8月25日、カムナ葦船プロジェクト代表で冒険家の石川仁さんを講師に迎え、こなん水辺公園救援隊のイベント「ヨシ舟をつくって乗ってみよう」がおこなわれました。今回はその様子をお伝えします。



上の写真は去年、園内でこなん水辺公園救援隊のメンバーが刈り取りをおこない、保管していたヨシです。これを舟にします。

9:00、こなん水辺公園管理学習棟に集合し、挨拶がおこなわれ、注意事項などが伝えられた後、エントランス広場でヨシ舟づくり開始です。

まずはヨシを束ねた「チョリソ」作りです。ヨシを縦方向に少しずつらしながら並べ、「チョリソ」を作ります。「チョリソ」とはスペイン語でソーセージのことだそうです。



チョリソ作り

チョリソを何本も作り、これらを束ねてさらに大きな二つのチョリソを作りました。そして二つの真ん中に芯となる細いチョリソを挟んで、ロープで交互に編んでいきます。左右から交互に、綱引きのようにロープを引っ張り、少しずつ締めていきました。講師の石川さん指導のもと、だんだんと形が作られていきます。



手際よく指導してくださる石川さん



しっかりと締めていきます

巨大な納豆が並んでいるようにも見えますが、触先ができると、一気に舟らしくなりました。

この日の朝は雨がぱらついていましたが、次第に空は明るくなり、昼前にはだいぶ日差しがきつくなりました。日差しを避けるため広場の木陰などを利用し、休憩をはさみながら作業を続けていきました。そうしてようやく舟が完成したのは15:30ごろでした。まずは記念撮影です☆



そして、大宮川まで運びました。草の舟なので、軽そうなイメージがありますが、実際はとても重いです。



みんなで持ち上げて運びます

作った場所から舟を浮かべた大宮川までは100メートルほどですが、途中何度か休憩をとり、やっとのこ

とで大宮川の土手までたどりつきました。そして進水式です。



進水式の様子

その後、一步ずつ、ゆっくりと土手から水面に向かい、舟をおろしていきます。少しずつ川に入り、舟の3分の1ほどが浮かぶと、あとは一気に押し出されるように水面に浮かびました。押し出したのは自分たちですが、舟が自分の意思で水に入ってしまったようにも思えるほど、なめらかに進んでいきました。



舟が浮かんだときは大きな歓声があがりました。そして、ほぼ一日かけて作った舟に、交代で乗船しました。みなさんとても楽しそうでした。

舟は安定感があり、乗り心地はとても良いものでした。自分が作った舟に乗る、ということは貴重な体験になったのではないのでしょうか。参加者のみなさま、講師の石川さん、協力してくださったみなさま、ほんとうにありがとうございました。

■ヨシ刈りへのお誘い

今回のヨシ舟には、救援隊が刈り取ったヨシを利用していますが、園内でのヨシ刈りは今年も行う予定です。そしてこのヨシを利用して来年もヨシ舟を作る予定です。日程が近づきましたら、お知らせいたしますので、ご興味のある方、ご参加をお待ちしています。

河北潟自然再生まつり 2013開催決定！！

日程：10月20日（日）
会場：こなん水辺公園

第四回目となる河北潟自然再生まつりの開催が決定しました。今年もたくさんの企画を予定しています。

☆体験コーナー

☆学習コーナー

☆めった汁無料配布 など

ヨシ舟の乗船体験も予定しています！
みなさまぜひご参加ください！！

発行 2013年9月7日

制作 こなん水辺公園解説員グループ（NPO 法人河北潟湖沼研究所内）

連絡先 〒929-0342 河北郡津幡町北中条ナ9-9 Tel.076-288-5803